

生物多様性保全活動

ルネサスグループの生物多様性保全活動

考え方

- I. 自然の恵みに感謝し、生物多様性が豊かで健全な社会を支える大切な存在であることを常に意識した行動に努める。
- II. 自然との共生のため、事業活動を通じて生物多様性の保全に貢献する。

活動内容

1. 廃棄時の環境リスクが小さく、省資源、省エネ性能に優れる環境配慮型製品を創出しています。
2. 材料・部品についても天然資源に由来した原料を利用していることを認識し、生物多様性に配慮したグリーン調達を推進しています。また、サプライヤーにも理解を求めています。
3. 工場・事業所の排水、排気などの汚染を防止し、生物多様性の保全に努めています。
4. 従業員へ生物多様性の重要性を広く周知し、自然との共生のための自主的な活動を促進しています。
5. 地域社会などとのコミュニケーションを図り、連携して生物多様性保全につながる社会貢献活動を行っています。

活動事例紹介

絶滅危惧Ⅱ類 ツクシイバラの育成

ルネサス エレクトロニクス(株) 錦工場では生物多様性保全活動の種の多様性を目的として、錦町の町花でもある絶滅危惧Ⅱ類のツクシイバラを工場敷地で育成しています。

当社グループは生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）で採択された愛知目標達成への貢献を宣言し、登録していく取り組み「にじゅうまるプロジェクト[※]」において「にじゅうまる宣言」をしました。

※ 国際自然保護連合日本委員会（IUCN-J）によるプロジェクト



錦工場の「ツクシイバラ」

ビオトープの作製

ルネサス セミコンダクタ マニュファクチュアリング(株) 山口工場では、2012年に敷地内ビオトープを作製しました。

ビオトープは「自然の状態が多様な動植物が生息する環境の最小単位」のことです。身近な自然が失われつつあるなかで、このような空間を整備・保全し、なじみ深い小動物や小鳥、植物などを呼び戻し、生物の多様性の保全を目指しています。作製時に放流したメダカは世代交代を重ね現在も生息しています。



排水での金魚の飼育

ルネサス セミコンダクタ マニュファクチュアリング(株) 西条工場では水質保全活動を行っています。浄化された工場排水の水質を確認するため、放流前貯水槽（左写真矢印）で金魚を飼育しています。西条工場が始まった37年前から水質確認のための金魚を飼っており、世代交代をしながら、現在10匹程が元気に育っています。



森林保全活動

当社グループは、森林保全活動を行っています。2019年度は、熊本県の川尻工場で44.08トンのCO₂吸収量認証書をいただきました。

